

## 自己評価シート【油面住区センター児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念や基本方針が利用者へ伝わるように、油面児童館のパンフレットに明記し配布しています。また、地域懇談会や出張児童館、乳幼児クラブの保護者やランドセル来館登録の面談等でも児童館の PR を目的に理念や基本方針等を伝えるようにしています。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
目黒区児童館運営指針には児童館の理念や基本方針が明文化されています。自館でも運営指針をもとに事業の総括や計画を立てています。理念や基本方針を個々の職員が理解することで、館としてねらいを持って事業を実施することができています。	利用者だけでなく、地域関係者にも行事などを通して、児童館の理念や基本方針をわかりやすい言葉で伝えるように心掛けています。しかし、区民の中には児童館そのものを知らない方もまだまだいるため、出張児童館など館外の事業を増やし、理念や方針を伝える機会を増やしていきたいと思っています。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。	

(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	毎年、児童館運営指針をもとに各事業の振り返りを行い、次年度の事業計画を立て、重点課題の抽出も行っています。また、行事を実施する際にも児童館運営指針を参考に目的などを設定するようにしています。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
<b>【判断基準】</b>	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の各部屋の特性を活かすことで、子どもたちが安心安全に楽しく遊ぶことができる環境を整えることができています。また、子どもたちにも各部屋の特性を理解してもらうことで、各部屋で実施するテーマ活動をらっぴーミーティング（子ども会議）を通して決めながら実施することができています。 また、住区センターとの複合館という良さを活かし、住区住民会議とは良好な関係が築けています。住区まつりなどの様々な行事で連携・協力や住区住民会議を通して、主任児童委員や青少年委員などの地域関係者とも日ごろから連携できる関係にあります。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
<b>【判断基準】</b>	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	目黒区子ども条例や東京都子ども基本条例などの冊子を遊戯室に置き、子どもたちがいつでも読めるようにしています。らっぴーミーティング（子ども会議）を通して、子どもの権利擁護の話をしたり、子どもたちの思いを実現できる取り組みを話し合ったりしています。また、定期的にこどもの人権について、自身の言動の振り返りや確認を職員間で行っています。
2-1-(4)	
児童館の理念・目的及び施設特性について	

良いと思う点	改善が必要だと思う点
利用対象者別に様々な目的に応じた利用ができ、利用者が「また利用したい」と思える館にすることを職員全体の目標として館運営を行っています。また、遊びに来る子どもたちを職員だけでなく、住区住民会議等の地域関係者と見守ることができているのも自館の良さの一つだと感じています。	土曜、日曜午前中の乳幼児のプレイルーム開放やボール遊びが苦手な子たちのための「ハッピータイム」、中高生のためのプレイルームの「中高生タイム」や図工室開放など、子どもたちの声を活かし、また、各年代が施設特性を活かした利用ができるようにしていますが、利用を増やしていくためには、更なる周知が必要だと感じています。

## 2-2 遊びによる子どもの育成

2-2- (1)	
子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。	
(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの様子で気になることがあれば、打ち合わせ等で共有し、共通の認識を持って、各職員が状況に応じて適切な対応が取れるようにしています。また、配慮が必要な子どもについては、できる限り保護者と連携を取り、特徴や発達過程を理解するように努め、一人ひとりの状況に合わせた対応をとるようにしています。保護者の気持ちに寄り添いながら、安心して児童館を利用できるように配慮しています。
2-2- (2)	
子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	
(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。	
(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	プレイルームでは、30分ごとに遊び決めを行い、子ども同士で遊びを選択できるようにサポートしています。また、今年度よりボール遊びが苦手な子どもでも参加しやすく、プレイルームでの活動の幅を広げるために「ハッピータイ

	<p>ム」を設けています。子ども同士で遊び決めを行い、日ごろできない様々な遊びができるようになったことで、日ごろプレイルームで遊ばない子たちが、動的な遊びを楽しむ姿が見られるようになりました。</p> <p>また、「らっぴーミーティング（子ども会議）」の話し合いから、新たな遊びを作り出し、その遊びを「ハッピータイム」で展開することもできました。</p>
--	---

2-2-(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

- 【判断基準】**
- (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
  - (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
  - (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>油面児童館では、中高生と小学生がともに遊ぶことが多くあり、中高生が小学生へ親しみを持って接してくれています。小学生は今年もティーンズ・フェスタ・イン・めぐろの「ドッジボール大会」で優勝した中高生に憧れを抱いており、中高生が来館すると喜んで一緒に遊ぶ姿も見られています。</p> <p>また、高校生の中には、今年度からボランティア登録をして乳幼児事業や児童館まつりなどを手伝ってくれています。クラブ活動を伝統的に続けていることから、昨今は中高生クラスの太鼓クラブがあり、ダイナミックな演奏をしてくれています。小学生にとっては、これらの姿もまたよい手本となっていて、中学・高校進学後の児童館利用促進へとつなげることもできています。</p>

2-2-(4)

遊びによる子どもの育成について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
<p>遊びや行事活動を通して、児童館特有の異年齢での関わりを深めることができます。また、遊びの中で起こる子ども同士のトラブルは、職員が仲介することで、人間関係を育む上でのよい経験となるように支援しています。</p>	<p>職員が子どもたちに対して細やかな対応が取れるように、職員会議等を通して実践を深められるようにしています。今後も、ちょっとした子ども同士のトラブルに対しても、職員会議などで対応方法について話し合い、振り返りを徹底し、引いてはそれが職員のスキル向上につながる事を目指していきます。</p>

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)	
緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>毎年、災害・防犯・アレルギー対応・怪我対応などの自館独自のマニュアルを状況に合わせて更新し、職員で共有するようにしています。毎月実施している避難訓練については、マニュアルを参考にして様々なシチュエーションを想定した訓練を実施しています。地域との合同訓練として、住区住民会議・油面小学校内学童保育クラブ・油面小ランランひろばとも連携して実施することができました。また、子どもの怪我や体調不良時に、必要に応じて保護者に連絡が取れるよう児童票の提出をお願いしています。実際に怪我や体調不良が起きた場合には複数の職員で対応し、ちょっとした怪我でも保護者へ連絡するようにしています。</p> <p>いかなる状況でも職員が冷静に対応できるように、避難訓練や事故への対応については職員会議で反省点や改善策を話し合い職員間で共有するようにしています。</p>
2-3-(2)	
利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】	
<p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。</p> <p>(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	職員一人ひとりが危機管理の意識を高めていくために、月一回実施している避難訓練を担当制とせず、児童館の職員のみならず学童保育クラブの職員を含めた常勤職員全員が持ち回りで訓練の企画内容を決めるようにしています。一人ひとりが企画立案をしていくことで、様々なシチュエーションを想定した訓練を実施することができています。